

Behaviours & attitudes	十分な休憩を取る 交代制の仕事や勤務時間の延長によって引き起こされたミスや問題について、上司に言うことを怠らない			安全の原則に基づく勤務変更のためのガイドラインを作成する。 疲労を引き起こす作業計画を見直す。 適切な設備が利用可能で容易にアクセスできるようにする。
-----------------------------------	--	--	--	--

5. 倫理性

5.1 仕事や診療への適正を維持する

	Level 1 <i>For Category 1, 2 & 3 health care workers</i>	Level 2 <i>For Category 2 & 3 health care workers</i>	Level 3 <i>For Category 3 health care workers</i>	Level 4 <i>For Category 4 health care leaders</i>
Learning objectives	自分や他の職員が仕事ができない時は、そのことを上司に言う	仕事において、職業上の基準を維持する	全てのスタッフが適切な仕事を的確に実施できるよう、明確なメカニズムを確立する。	勤務あるいは医療を行うためのスタッフ・メンバーの適性を監視し報告するための公平でわかりやすいシステムを作る。
Knowledge	雇い主が自分の仕事に何を要求しているのかを知る 自分の仕事能力についてのフィードバックからいかにして学ぶかを知る。 非倫理的であったり、能力が低下していたり仕事に不適格な職員についてどのように上司に報告すべきかを知る	安全でなく、能力が劣り、非倫理的な職員について上司に報告する差異の必要事項を知る 専門職の規制委員会【professional regulation authority】や専門職協会【professional association】の役割と機能を理解する 自分の技能と知識を最新に保つ方法を知る	概観の仕方を知り、チームの業績の標準を査定して、何が不足しているのかを記述する方法を知る。 労働者の能力や行為に関する心配や苦情を管理する公正な遂行の本質を意識し伝達する。	職場における不適切な行いを管理するためのシステムを確立する。 専門職登録機関への報告必要条件を知る。 「医療を行うための適性」の要素を知っている。
Skills	満足できるレベルに達するよう仕事をし、自分の仕事で要求されている技能と知識を身につける	診療とケアの水準を良質に保つ 自分の同僚の至らない行為や能力を適切に管理する 自分の専門能力の範囲を知り、その範囲内で働く 仕事に影響を与えるような法律や実践の規範【法廷コード? statutory codes】を最新のものに保つ	スタッフ業務に関する問題を管理し、効果的に導く。 必要なレベルの能力で人々へ業務を施す。 不正行為や実務のパターンに関する根拠をもって職員の能力を査定する。	全てのスタッフのために適切な教育及びトレーニング・プログラムを提供する。 職業団体と監督機関との適切な関係と連結を確立する。 公正でわかりやすいシステムが職場の不十分な性能と不適切な実行の管理に不可欠であることとする。 適切なレベルのサービスを要求される医療従事者と専門家の能力を定める。 サービスを提供する職員の能力を評価するシステムを確立する。 全てのスタッフが、期待された基準がわかるようにする。
Behaviours & attitudes	刑事上の違反について正直に雇用者に打ち明ける 自分の知識と技能が最新事情から遅れないようにし、仕事に適任であるようにする 仕事を邪魔し、仕事に向かなくさせるような健康状態について認識する 上司への報告の細部を他の職員と議論をしないことで守秘義務を維持する。	同僚に相談することに前向きになる 実務能力を維持し発展させるための教育プログラムに参加する 診療評価の結果に、適切に対応する 安全な仕事【practice 治療】に必要な技能を示す	技能と知識を高めるスタッフを支持して、奨励する。 適切なスタッフと患者記録を維持する。 不適任な人々を、適切な人や当局に委託する。 傷つき苦しむ医療従事者を支援する。	必要に応じ、関連国家機関、専門職協会または保健当局と連絡をとる。全てのスタッフにそれらの能力を維持する教育プログラムに参加する機会を提供する。 全てのスタッフに、教育とトレーニングの機会に関する情報提供を効果的に行なう。 全てのスタッフが適切な資格を有し信任されるようにすることによって、公衆を保護する。トレーニングと専門的展開を継続することによ

				り責任をもった文化を作る
--	--	--	--	--------------

5.2 倫理的な行動と実践（をする）

	Level 1 <i>For Category 1, 2 & 3 health care workers</i>	Level 2 <i>For Category 2 & 3 health care workers</i>	Level 3 <i>For Category 3 health care workers</i>	Level 4 <i>For Category 4 health care leaders</i>
Learning objectives	適切な態度や行動をとり、患者や他の職員に対して敬意を示す	いかなるときも倫理的に行動し、どのような治療行為においても倫理的論法を適用する	意志決定や適切な行動をする際、倫理的考慮を常に取り入れる。	常に倫理的なリーダーシップを示す。
Knowledge	自分の職場における仕事の規範を知る ストレスを管理する方法を知る 他の医療スタッフの役割を理解し、尊敬する	医療における倫理的な意思決定や主要な倫理的ジレンマに適用される理論と原則を理解する 患者や付き添いと倫理的に正しい【倫理的な】関係性を持つのに必要とされる個人の資質を知る 意思決定に大きく影響する倫理的原則についてチームで議論する 自分の業務に関係する専門職の職務規範【職業倫理】を知る 自分の職場に適用される患者の権利と責務の憲章を知る 地元と地方自治体の法律を知る 専門職の特性と責務を知る	倫理的な推論と決定を臨床実践と職場に統合する方法を知っている。 制定法と、スタッフにとってアクセスしやすいフォーマットを有する健康要件の部門を統合する方法を知っている。 スタッフが未熟であることや、不道德な所業または損傷について、報告するようにメカニズムを確立する方法を知っている。 健康管理のメンバーがチームになるとき患者を含む方法を知っている。	他の専門家と職業集団に関する専門の任務と義務の所在及び重要性を知る。 非倫理的で効果的でない行為を管理するための公平でわかりやすいシステムを確立する方法を知る。 組織における医療従事者と専門家に、適切な倫理的業務規約を実行させる方法を知る。
Skills	患者や付き添いに対して、彼らに影響を与える行為を始める前に許可を求める 患者や付き添いに耳を傾け、彼らの意見を尊重する 割り当てられた仕事を催促されることなく終わらせる 自分の感情をコントロールする 患者や付き添いとの個人的な交流を適切に保つ 患者にリスクを与えるような不適切な振る舞いがあった場合、どのような事例でも上司に報告する 他者と患者の個人情報を話し合うことをせず、患者に対しての守秘義務を保持する	仕事のガイドラインと健康政策における倫理に関連する要素を認識する 倫理的な複雑さを考慮しつつ、行為を同定し、分析し、効果的に実行する。 どのようなときも倫理的実践を示す。 患者や付き添い、同僚と適切かつ効果的にコミュニケーションをとれるようにする 自分の専門性を高め続けるために個人プランを発展させる 薬剤や機器が関係する有害事象を適切に報告する 利害の衝突を認識し回避する。	健康管理専門家が倫理に基づいた決定をすることを補助するツールを提供する。 仕事や教育に関連する論争を管理ための制度を設ける。 より費用対効果に優れた代替手段を提供して、患者のために、より良い注意を実行する改善を特定する。 より経験年数の少ない医療保健業務従事者のためにどのように師と手本であるかを知る。 他のものにおける防御体勢を引き起こすことを避ける方法を知っている。	医療従事者と専門家が倫理的ジレンマを管理するために、適切な倫理委員会を設立して、支援する。 職場の専門性重視の重要性に関する、ワークショップやシンポジウムの支援者となる。 標準化された手法を作成して、組織の中で専門職としての義務と責任を示す。 公衆に役立つ可能性のある新しい処置、あるいは発見を見出すメカニズムやプロセスを確認する。 メカニズムやプロセスを確立して、新しい処置や治療が確実に安全になるようにする。

		倫理的ジレンマについて同僚に相談する 定期的に自分の知識と技能を新しく更新する 患者や付き添いのために、セカンドオピニオンを手配する 物事が間違った方向に行った場合、公正で完全な情報を患者に提供する 欠陥や非倫理的な行いを認識する データと情報の収集と保持、また使用と普及に対して、倫理的原則を適用する		
Behaviours & attitudes	患者に共感と視点の尊重を持って接する 患者と接しケアをしている他の職員と協力する しかるべき身分証明書を身につけ、患者や付き添い、同僚に対して自分が何者であるかを示す 患者のニーズを一番に優先する 患者と付き添いに対し、共感を持ってきちんと接し、偏見を持たない。 自分の組織における行動規範と制度上の手続きに従う 他の人に嫌な思いをさせない 患者や付き添いや他の職員との交流においては常に正直かつ誠実である	患者や付き添いについて、同僚を見下した態度で議論しない【同僚と議論しない】 個人的な利益のために自分の専門の地位を使わない 患者と付き添いのためのサポートサービスを示す 地域への奉仕や、専門研究、施設内委員会に参加する 患者の権利と責任について認識し対応する 患者と社会のニーズに敏感になる 現在進行中で優れている専門能力の開発に取り組む 治療、投薬や機器については、患者のニーズを満たすものだけをサービス提供する 自分の治療に関する意思決定に完全に参加するという、患者の権利を尊重する	改善が、あなたかあなたの部門にとって財政上不都合であるときでも、継続的な改善を確約する。 全てのスタッフが、自分達の倫理的で専門的責務を満たすことを支援する。 医療への社会のニーズに敏感となる。 患者が評価し価値を置いている、オープンな職場を創造する。	倫理的責任と一致した方法で、社会への貢献と患者のために仕事をこなす。 患者をケアし、疾患に対応し、障害を緩和することにより、組織が社会的責任を果たすことを確認する。

6. 継続教育

6. 1 職場における学習者であること

	Level 1 <i>For Category 1, 2 & 3 health care workers</i>	Level 2 <i>For Category 2 & 3 health care workers</i>	Level 3 <i>For Category 3 health care workers</i>	Level 4 <i>For Category 4 health care leaders</i>
Learning objectives	技術を向上させ、仕事の仕方をさらに学ぶ	職業上の義務と責任に適した学習プログラムへ参加する	全てのスタッフが、適切な有効な学習プログラムに基づいて仕事ができるようにする	組織の全てのスタッフのために学習プログラムを確立する。
Knowledge	自分の地位に関係する能力レベルを知る 自分自身の仕事の知識、技能、経験について自分のレベルを描く方法を知る	どのようにして自律した学習ができるようになるかを知る【自主学習者になる方法を知る】 学習の様々なスタイルを知る	職場で学ぶための異なった方法を知り、評価する。 生涯学習の原則を理解する。	良く訓練された職員の貴重さを知る。 全ての職種のスタッフのためのトレーニングと認可要件を知る。 職場の学習者が直面する、学習意欲を理解する。確実な安全の中で、役割教育とトレーニングが実施されるのを理解する。
Skills	医療サービスについて建設的なフィードバックを提供する 他の学習者と共にサポートのネットワークをつくる 積極的な学習者になる インターネットを基盤とした学習を行う	自分の立場と経験のレベルに関係する、学習と能力の目標を見直す【review】 現時点での自分の知識、技能、経験を自己評価する方法を知る 新しく得た技能を安全に適用する 自分の能力を自身で監督する 専門職の能力向上プログラムに参加することで、自分の知識と技能の足りないところを認識し改善する 多くの専門分野に渡り、チームを基盤とした学習に参加する 環境に即応するために、様々な学習方法を採用する さらなる認定の必要性を定期的に見直す 【 Regularly review further accreditation needs.】	自分の立場に適切な教育訓練に参加する。 それぞれの仕事に必要な適切な教育と訓練プログラムへのアクセスを、スタッフに提供する。 全ての職種の総合的な就学の機会を提供する 全てのスタッフの学習と業績結果を評価する。	効果的で個々の職員のニーズに対応できるトレーニングと教育プログラムを実行する。 組織のサービス性能へのスタッフ学習成果の貢献に関して評価して、報告する

Behaviours & attitudes	教育・訓練のニーズの評価に 加わる 自分に与えられた学習の課 題と活動を完成させる 周りの職員や学生から学ぶ	上司と定期的に会う 最新情報に常に接すること に責任を持つ	スタッフのために指導的体 系を支援し、提供する。 生涯学習のための手本と支 持者が職場にいるようにす る。 スタッフに提供されたトレ ーニングの質を監視する。	生涯学習者を評価し、全ての スタッフが教育訓練目的を 満たすよう支援する。 他の職員及び学生から学ぶ。
------------------------	---	---	--	---

6. 2 職場における教育者であること

	Level 1 <i>For Category 1, 2 & 3 health care workers</i>	Level 2 <i>For Category 2 & 3 health care workers</i>	Level 3 <i>For Category 3 health care workers</i>	Level 4 <i>For Category 4 health care leaders</i>
Learning objectives	他の職員に対し、自分の仕事の進め方について自分が知っていることを共有する	教師（教える側）となり、建設的な仕方での定期的なフィードバックを与える	全てのスタッフが、他職種の知識と技能を伝えられる機会をもてるようにする。	スタッフが継続的に学習する文化の恩恵について、教えられているような、学習する組織を創設する。
Knowledge	現場での指導と学習における、監督【管理】の価値と役割を理解する 職員（監督【管理】される側）と上司（監督する側）の視点からの監督の利点を知る	大人になってからの学習の原則と理論を知る 生涯学習の構成要素を知る 自主学習の基本を理解する 学習における学習の準備（形成的評価）と獲得した技能の評価（総括的評価）の利点を理解する 評価の役割と機能を知る	異なった学習法を評価する。 学習者に必要な業務レベルを知っている。	良く訓練された職員の価値。生涯学習の原則と理論。職場の学習者が直面する競合する要件。（を知る） 役割シミュレーションの教育が、安全性の訓練の効果を最大限にし、リスクを最小限とすることに役立つことを理解する。
Skills	学習の規約における連携【partnerships in the learning contract】の重要性を認識する 学習者に対して、早く明確なフィードバックを与える	学習者のニーズを念頭において、学習講座【learning session】の準備をする 学習場所や個々の学習者に合わせて指導方法を用いる 仕事における指導【'on the job' teaching】をどのように構成すべきかを知る 学習者はそれぞれのニーズを持った個人なのだということを認識する 学習者を議論に巻き込む 学習者が議論に持ち込んだ様々な人生や仕事の経験を歓迎する 学習活動を学習の結果と評価に一致させる 学習規約を設定する 学習者に対し、建設的なフィードバックを提供する	全てのスタッフの総合的な就学の機会を提供する。 全てのスタッフのトレーニングと学習を監視する。 実施中における教育を構造化する方法を知っている。 学習環境を容易にする。 定期的に正式な教育的ラウンドを行う。 学習契約を管理する。 師となる。 評価の異なる方法を適用する。 管理者とチームリーダーのトレーニングをし、支援する。 学習者を雇って、技能と知識を開発するよう活動を位置づける。 総合的な教育に従事する。	効果的な学習環境を築く。 全ての職種のスタッフの需要を満たす学習方法を支援する。 様々な教育とイニシアチブを学ぶための資源を求める。 学術的教育を促す。 サービスの改善による学習成果を評価する。 サービス規定の患者認識に関する教育プログラムの影響を評価する。 教育イニシアチブの結果に関して、理事会に報告する。
Behaviours & attitudes	学習者や学生からのフィードバックに応える 特に新しい職員に対しては、コーチまたはロールモデルになる 新しい技能を学ぶのに成功した他の職員を支持し、賞賛する	自分の個人的な指導スタイルを自覚する 実例を出して謙虚さについて指導する【Teach humility by example.】	通常教育スケジュールを確立する。 学習者を支持して、奨励する。 学習者がトレーニングセッションの間、混乱しないようにする。	保健医療教育でのリーダーとなる。 積極的に地方や全国健康教育フォーラムに参加する。 全てのスタッフのためにweb-basedの学習を容易にする。スタッフとのあらゆる学習契約に関する条件も尊重する

7. 特記

7. 1 部位間違い、誤った手技・処置、及び誤った患者治療を予防する。

	Level 1 <i>For Category 1, 2 & 3 health care workers</i>	Level 2 <i>For Category 2 & 3 health care workers</i>	Level 3 <i>For Category 3 health care workers</i>	Level 4 <i>For Category 4 health care leaders</i>
Learning objectives	扱うべき患者を正しく診ていることを、確かめる方法を知る	診るべき患者が正しい処置を正しい時と場所で受けていることを確実にするために、検証手続きに従う	患者が適時適切な正しい治療を受けられるために、安全な業務を計画し実行する。	患者が誤ったケアや治療を受けることを予防する指針及びガイドラインを作成する。
Knowledge	患者の正確な同定における自分の役割と責任を知る サービスを受けている人が正しいかどうか確認するための手順を知る 患者取り違えが起こりやすく鍵となる時間について知る	正しい人が正しい治療や処置を受けていることを確認するための照会方法の段階を知る 患者取り違えの予防において、円滑なコミュニケーションの果たす役割を理解する 患者取り違えの予防のための施設のガイドラインを理解する	現場(術前・術中)、移動する場所と病棟での、患者誤認を避ける確実な確認のプロセスに関わるステップを知っている。 ヒューマンファクターの活用が患者の誤認を減少させるために役立つことを知っている。	患者誤認によって引き起こされた害に気づく。 患者誤認を防ぐ方法を知る。
Skills	医療サービスの提供時に、正確に患者を同定する 患者の正確な同定を確認するために、同僚とコミュニケーションをとり、チェックする 手術室、病棟において、患者同定を検証するために作られたチームに参加する 患者が場所を移動前や、担当者が変わる前に患者の同定を確認する	患者が理解可能な言語で向かい合ってコミュニケーションをとる 患者取り違えを避けるために、施設または部署のガイドラインに従う	そして、現場(術前・術中)、移動する場所、病棟での患者誤認を避ける確実な確認のプロセスを開発する。 あなたの部署の確実な確認のプロセスのためのチェックリストを開発する。 医療チームの各メンバーが、正しい患者が適時正しい処置を受けるのを確実にするための役割と責任を確実に知っているようにする。 手順の位置(患側?)を示すための規則を開発する。 位置マークを拒否する患者のために手順を開発する。 手順を始める前に、きまりきって 'タイムアウト' ミーティングを行なう。 'タイムアウト' ミーティングに関する概要を記録する。	医療施設における患者誤認予防対策を構築する。 患者がオーダーや同意書にサインなしで病棟及び部署を去ってしまうことを防ぐための予防対策が適切な所に確実にあるようにする。 患者が、それらの状態やケア計画になれていない病棟にいる場合、重大な情報の伝達用プロトコルを作成する。 スタッフの反応の差を一致させるために、「タイムアウト」ミーティングに手法を提供する。
Behaviours & attitudes	患者取り違えの可能性や実際に起こったケースについて、上司に話す	定期的にチェックリストを用い、治療チームで患者の同一性や奨励される治療や処置について話し合う	サービスや処置を受けるにあたって、確患者の同一性を全てのスタッフが確実にチェックするよう関わる。 患者に確認のプロセスに関わってもらう。	特定できない患者誤認事例に関して報告し、スタッフと教訓を共有する。

7. 2 安全に薬を投与する

	Level 1 <i>For Category 1, 2 & 3 health care workers</i>	Level 2 <i>For Category 2 & 3 health care workers</i>	Level 3 <i>For Category 3 health care workers</i>	Level 4 <i>For Category 4 health care leaders</i>
Learning objectives	投薬がたくさんのアクシデントやミスの原因となっていることを理解する	投薬に関連した主なエラーのタイプとその原因、リスクについて知り、有能な実践を通してそれらを減らす努力をする	医療従事部門の全メンバーのために、安全な処方発行になるよう促す。	薬物の処方と投与に関連したリスクを最小とする組織全体の取り組みを実行する。
Knowledge	投薬がたくさんのアクシデントやミス（有害事象）の原因になっていることを理解する	投薬の措置【actions行動】、兆候【目安、適応？ indications】、矛盾点、逆効果について理解する 調剤の過誤に頻繁に巻き込まれる薬剤を知る 誤認のタイプと原因とリスクについて知る 誤薬プロセスの段階を知る 誤薬予防の戦略を知る	薬物療法安全への多様訓練アプローチの恩恵を理解する。 そして、異なった患者の場所へのプロセスの各段階での誤りの機会と、薬物療法を患者に施すプロセスを理解する。 いつどこで最もありそうな過誤の発生を抑えるための手を打つかを知っている。	コンピューター化で規定することの利点を理解する。 薬物処方の複雑さと医療における薬物療法のエラーの範囲を理解する。
Skills	投薬に関連している、安全でない業務を同定する 安全でないように見える投薬【medications】について質問するように患者に促す	薬剤を安全に処方し投薬する方策を知る 投薬【medications】に患者を巻き込み教育する方法を知る 投薬に関連したリスクを減らす方法を知る 全ての薬剤の量の計算をダブルチェックし、記録する アレルギーを持つ人の明瞭な記録を確実にする	薬物療法安全に関してオリエンテーションプログラムを新人スタッフに提供する。 薬物療法誤りを最小とする、さまざまな方法を活用する。 薬物療法誤りから分析して、学ぶ。 長期の反復処方になることを見直すことによって、活発に患者を管理する。	労働環境を標準化する。 組織のための標準化されたチャートを作成する。 組織全体のプロトコルを実行し、薬物療法におけるエラーを最小にする。 薬物療法におけるエラーを報告する有効なシステムを確立する。 組織全体に対する薬物療法におけるエラー減少のアプローチを確立する。
Behaviours & attitudes	予期せず残されてしまった薬剤について、上司に報告する 薬物を投与し忘れた場合、上司に報告する。	患者に対する全ての処方、調剤、薬剤の管理を確実にし、ダブルチェックを行う 全ての誤薬（処方、調剤、投薬）とニアミスについて報告する 明確に読みやすく書く 安全な投薬に必要な技能と知識を、定期的に最新ののものにする	医療従事部門の全メンバーのために、安全な処方発行になるよう促す。	様々な職種のスタッフ全員に、適切な薬物療法の取り扱いのトレーニングを実施し、安全監視が適所にあることを確認する。 コンピューター化された処方オーダー申し込みを実施する。